

中百舌鳥駅周辺活性化基本方針（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

	ご意見の要旨	市の考え方
○ 基本方針全般、その他について		
1	地下鉄御堂筋線を中百舌鳥駅から延伸計画を立てて、人の流れをより強くすることが一番の活性化につながると思います。	地下鉄の延伸は、多大な事業費やその整備効果、周辺環境への影響など課題が多く、慎重に検討する必要があります。なお、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境を整えることが必要と考えています。そのため、中百舌鳥駅周辺エリアでは駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉えて都市機能強化や空間活用を図る駅まち空間として魅力を高める取組を進めます。
2	中百舌鳥駅周辺を活性化させようとお考えのようですが、駅前一等地どころか駅前周辺をも含めた一帯全てを一度全部地下鉄なかもず駅開業の頃みたいに全面空き地にしてその上で土地区画整理事業も実施して道路も全て引き直してから百貨店もしくは大規模商業施設（いずれも住居不可）を万難を排してでも誘致する覚悟はありますか？そこまでしない限りは少なくとも区間急行以上の列車が停まるのに見合った副都心に成長させることは決してできません。	堺市基本計画2025において、中百舌鳥周辺エリアはイノベーション創出拠点として位置づけられており、「多様なひとが交流し、活力を生むイノベーション創出の拠点」、「多くの人が集い南大阪の成長・発展をけん引する存在であると同時に地域の中心的拠点」としての役割を果たす必要があります。このため、本方針において中百舌鳥駅南北側広場の再編や北部エリアの有効利用をはじめ、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組の方針等を示しています。これを多種多様なステークホルダーが共有し、多様な主体によりめざすべき姿を実現することで中百舌鳥駅周辺エリア全体の魅力と価値の向上をめざします。
3	カタカナが多すぎて、分かりやすそうで、実は中身が分かりにくい、特に、コンセプトやイノベーションなど、大事なところをカタカナで誤魔化しているのではないか。何をするのか、もっと具体的に書くべき。	本方針は、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化の方向を示し、ハードとソフトの両面で市民や事業者、関係者等、多様な主体と連携して具体化するための指針を共有するため、分かりやすい表現やイメージ図を用いています。
4	中百舌鳥の活性化自体不要 無用の長物。	堺市基本計画2025や堺市都市計画マスタープラン等の上位関連計画において、中百舌鳥駅周辺エリアは、「イノベーション創出拠点」と位置づけられています。中百舌鳥駅周辺エリアでは、活性化に向けた活用が期待される低未利用地等が存在することや利用者ニーズとして商業施設の少なさや乗り継ぎのしにくさなど、賑わいや利便性の面で課題が確認されていることから活性化に向けた取組が必要であると考えています。

	ご意見の要旨	市の考え方
5	少子高齢社会に突入しているのに、イメージ図を見ても、文章を読んでも、高齢者のことは一切触れられていない。街の活性化には高齢者は不要ということでしょうか。	本市がめざすイノベーション創出拠点形成するには、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境整備が必要と考えています。そのため、エリアで行動する年齢、障害の有無や種類、性別及び国籍などが違う人々を「多様なひと」と表現しています。また、本方針で示すパースは「多様なひと」が活動していることをイメージしたものです。
6	イメージ図や文章に、障害者のことは一切触れられていないのではないのでしょうか。このような計画にも、障害者を排除すべきではない。	
7	子育て支援に限らず障害者にも優しい街づくりを期待しています。イメージイラストに長い階段を見ただけでつい意見をしなければとってしまいました。また、3 障害の差別も無いようにしてもらえたら嬉しいです。バリアフリーの専門家の様な方に監修して頂けたら当事者の気持ちが反映しやすくなるのではないのでしょうか。	本市がめざすイノベーション創出拠点形成するには、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境を整えることが必要と考えています。そのため、エリアで行動する年齢、障害の有無や種類、性別及び国籍などが違う人々を「多様なひと」と表現しています。また、本方針で示すパースは「多様なひと」が活動していることをイメージしたものであり、P19 のイメージパースではバリアフリー動線を意識したエレベーターを描いています。
8	中百舌鳥駅周辺は、ただでさえ、310 号線とときはま線が交差し、常に大渋滞なので、鉄道オンリーで駅周辺の活性化を考えるのはナンセンス。道路交通網や駐車場なども、駅周辺の活性化基本方針の中に、計画しないと、活性化の効果が半減する。SDGs な活性化を期待します。	本方針は、中百舌鳥駅前北側広場の再編や北部エリアの有効活用をはじめ、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化の方向を示し、民間投資の誘発等、多様な主体によりイノベーション創出拠点等の上位計画でめざすべき姿を実現し、エリア全体の魅力と価値の向上を目的としています。 今後、事業を進めるにあたり交通をはじめ様々な関連施策との連携を図ります。
9	人口が増えて車の数が増えると見越して、道の車線を増やしたり信号考えて欲しいです。今後さらに道が混んでくると思うのでスムーズに動けるように駐車場含めて考えて欲しい。	
10	南海電気鉄道の「中百舌鳥」駅のホームは元々狭いにも関わらず、ホームドアが作られて、さらに狭くなった。中百舌鳥駅周辺に、これ以上人が集まると駅のキャパシティを超えて、ホームから人が溢れて、大きな事故につながるのではないかと。	鉄道事業者から「可動式ホーム柵がホームでの接触・転落事故防止に最も有効と考えており、中百舌鳥駅においても可動式ホーム柵設置等により駅の安全性向上を図った。また、駅周辺の活性化に伴う駅利用動向の状況を鑑みながら、駅ホームの安全性向上に向けた検討を行う。」と聞いています。

	ご意見の要旨	市の考え方
11	中百舌鳥駅周辺を活性化するためにも、開かずの踏切を解消しないと、砂上楼阁だと思えます。市長は、開かずの踏切の改善を計画化して、速やかに実行に移してください。	いただいたご意見は鉄道事業者や関係事業者等と共有させていただきます。
12	中百舌鳥駅周辺の踏切は開いている間隔が短く、とても多くの方が踏切前に滞留しているため、誰もが安全に快適に利用するための迂回通路の整備及び改修を行っていただきたい。	
○ I 計画の前提		
13	2027年（令和9年）4月から「大阪公立大学工業高等専門学校」が公立大の中百舌鳥キャンパスに移転されるので、そのことについても計画として触れて欲しい。高専の学校が、ただ中百舌鳥に来るのではなく、堺市として、どのように受け入れていくのかも重要な課題だと思えます。	P2の立地特性に「大阪公立大学工業高等専門学校」が公立大学との連携強化を図るため、令和9年4月（予定）から中百舌鳥キャンパスに移転する旨を追記します。
14	公立大学中百舌鳥キャンパスとの産学連携が記載されていますが、知事と市長が変わって、突然、府大が公立大に変わったように、何らかの方針転換で、公立大学が中百舌鳥キャンパスから撤退することはないのでしょうか。公立大学が今後、何年間くらい中百舌鳥キャンパスを使用するのか、市と協定を結ぶなどして、明文化すべきではないのでしょうか。今の府政や市政を見ていると、半永久的に公立大が中百舌鳥に居ると仮定するのは良くない気がします。	大阪公立大学は中百舌鳥キャンパスにおいて、令和6年4月に工学部の新棟が整備されました。また、イノベーションアカデミー共創研究拠点も整備中であり、令和7年春ごろに竣工予定です。更に、令和9年4月には大阪公立大学工業高等専門学校の移転を予定しています。本市と同大学は、平成20年に大阪府立大学と締結した基本協定を継承し、令和6年3月28日に包括連携協定を締結しました。今後の連携の更なる発展に向けて、本市の行政課題の解決や中百舌鳥エリアにおけるイノベーションの創出を進めることについて双方で合意しています。
○ II 現状・課題整理		
15	障害者も含めて利用し易いテナント、合理的配慮に基づいたバリアフリーに特化した店舗（商品の陳列を車イスユーザーの目線、動線、飲食店でのトイレも段差や車イスが回転し易さ、便器からの移動が楽な床面積の確保、フィッティングルームの床面積）の充実。	本方針では、エリアで行動する年齢、障害の有無や種類、性別及び国籍などが違う人々を「多様なひと」と表現し、課題①で「多様なひとがエリア内で時間を過ごせるような都市機能が求められている」としています。

	ご意見の要旨	市の考え方
16	マンションや住居のわりに買い物スペースや飲食店が少なく感じます。	いただいたご意見は、利用者ニーズでも同様の課題と認識しており、民間活力を導入した商業・業務・多様なひとが交流する機能等を有する施設整備に取り組みます。
17	利用者ニーズ（車いすの利用者目線から）乗り継ぎのしにくさ。	利用者ニーズは市政モニターアンケート結果（令和4年度）に基づくものです。いただいたご意見は今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。
18	「現状の課題」に駅周辺の交通渋滞を追加すべき。	本方針は、中百舌鳥駅前北側広場の再編や北部エリアの有効活用をはじめ、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化の方向を示しています。また、民間投資の誘発等、多様な主体によりイノベーション創出拠点等の上位計画でめざすべき姿を実現し、エリア全体の魅力と価値の向上を目的として作成しています。 交通渋滞については、今後、事業を進めるにあたり関連施策と連携を図ります。
○ Ⅲ 活性化のコンセプトと取組の方針		
19	地下の駐輪場の有効活用を検討して欲しいです。駐輪場にしておくのはもったいないです。商店を誘致するなどして商業エリアにして欲しいです。現在利用している人には申し訳ないけど、全体の利益を考えて欲しいです。また、人口は急激に減っています。高齢化も激しいです。自転車利用者数は数十年前と比較すれば激減していて、今後はさらに激減します。地下駐輪場を閉鎖して、その他の駐輪場で吸収するべきです。	中百舌鳥駅周辺エリアは、公共交通のアクセシビリティが高いエリアであることから自転車等の利用者も多い状況です。 特に中百舌鳥駅前地下自転車等駐車場は大規模駐輪場であり、利便性も高く駅周辺の中核となる駐輪場施設となっているため、平成13年の開設から現在に至るまで利用が非常に高い状況で推移しています。今後は利用者の動向を分析した上で、駅利用者や商業施設利用者の自転車利用を促進する観点から必要な駐輪環境の確保に努めます。 また、駅前北側広場では、駅前広場の一部を土地利用転換し商業・業務・多様なひとが交流する機能等と乗継改善にも資する民間施設整備の取組を進めています。いただいたご意見は、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。

	ご意見の要旨	市の考え方
20	<p>中百舌鳥駅周辺に、いきなりそんな大規模な商業施設を作るのは難しいと思いますが、2つの駅とデッキが地下で繋がっている建物と、駐輪場の充実で、かなり状況は変わるのでと思います。きっかけとなるように、大学の下宿生用の物件を駅前に増やす等、計画的に進めてはどうかと思います。建物だけでなく、人の流れの変化を起こして、中百舌鳥の発展につなげていただきたいと思います。</p>	<p>本方針では、拠点施設整備として駅前広場エリアの整備を先行し、次に北部エリアの整備を段階的に行うことで、エリア内の活性化を図ります。その効果を、両エリアをつなぐ周辺市街地に波及させ民間投資を誘発することで、多様な主体によりめざすべき姿を実現し中百舌鳥駅周辺エリア全体の魅力と価値の向上をめざします。</p>
21	<p>人口減の現在、どこまで実現可能だろうかと考えますと、今のままでは大きな変化が望めないのかも、建物の変化だけでは変わらない事が多いのではないかと言う気がしました。</p> <p>なぜ今駅前が賑わっていないのかを考えると、需要が無いからだと思います。建物を建てて施設を作るだけでは、需要がないままで苦しい結果になる恐れもあるかもと思われまます。</p> <p>下宿生の多くが中百舌鳥駅周辺に住むようにすれば、飲食店等の商業施設の需要は高まります。</p> <p>中百舌鳥駅は大阪へのアクセスが良いのが逆効果で、地元の飲食買物ニーズが流出なのではないでしょうか。</p> <p>集う場所が駅付近であれば、大勢がそこに留まるようになると思います。</p> <p>学生の溜まり場所がきっかけで、駅前の複合商業施設ができて存続すると、近隣の住民も、電車に乗らずにパート等で働く場所ができます。</p> <p>こうした人たちが増えると、必ず増えるのが自転車で、駐輪場は重要課題です。駅前の商業施設であっても、電車利用だけでなく、自転車利用者への対応は非常に重要だと思います。</p>	<p>中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境を整えることが必要と考えています。そのため、中百舌鳥駅周辺エリアでは駅・駅前広場・周辺市街地を一体的に捉えて都市機能強化や空間活用を図る駅まち空間として魅力を高める取組を進めます。</p> <p>また、駅周辺エリアについては、ご意見のとおり、駅利用者だけでなく、商業施設利用者や関係者等の駐輪環境も重要であると認識しています。自転車利用者の動向を注視し、安全で利便性の高い駐輪環境の実現をめざします。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
22	バス・タクシーのターミナルは必要ないし、もったいないです。広場にするとか、商業ビルを建てるとか、有効に使って欲しいです。買い物ができる商業ビルが必要です。わざわざ他のエリアに行って買い物をしています。中百舌鳥駅よりはるかに乗降者数の少ない駅でも商業ビルがあります。中百舌鳥にないのは不自然です。	駅前北側広場では、駅前広場の一部を土地利用転換し、商業・業務・多様なひとが交流する機能等と乗継改善にも資する民間施設整備の取組を進めています。いただいたご意見は、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。
23	安全快適で歩きたくなるひと中心の空間にすると現在資材（建築、コスト）の高騰もあってなるべく低コストエコで交通利用形態の最適化を考えた駅前広場 例えば天王寺公園（てんしば広場）のような公園と駅広場の共有デザイン（箱物の建物は考えず今ある部分をどう生かすか？）を考えて欲しい。	
24	魅力のある店舗として日本や関西における分野一番店の誘致を 駅前広場にキーテナントの誘致と各店舗利用による駐車を前提に、自転車も含め大型多層地下パーキング設置をぜひご検討ください。	
25	車イス利用者も安全・普通に移動できるエリア（周辺のテナント・施設）を先ず考えて頂きたい。	本市がめざすイノベーション創出拠点形成するには、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境を整えることが必要と考えており、障害の有無など関係なく交流・活動ができる拠点形成や誰もが使いやすい空間整備を図ります。
26	堺東～白鷺付近を高架にすることで 310 号線と堺富田林線他のつながりを円滑化する。その際に中百舌鳥駅を東に移転し堺高石線上を跨ぐ位置に移動して御堂筋線との乗り換え導線を直線化する。	南海電鉄南海本線の諏訪ノ森駅～浜寺公園駅付近の区間と南海電鉄高野線の浅香山駅～堺東駅付近の区間において連続立体交差事業に着手しています。連続立体交差事業は多大な費用と期間を要する事業であり、これら 2 つの事業の進捗に一定の目処が立った段階で、その他の区間の連続立体交差化について総合的に検討する予定です。

	ご意見の要旨	市の考え方
27	<p>乗り換えをスムーズにできるようにして欲しいです。南海の中百舌鳥駅のすぐ近くに地下駐輪場の入り口があるのだから、地下でつなげることはできるはずなのに、南海が拒み続けています。南海を説得してください。</p>	<p>中百舌鳥駅の乗継改善については、令和4年9月に南海電鉄中百舌鳥駅構内において改札位置が変更され乗継改善が図られています。また、中百舌鳥駅周辺活性化と一体で進める必要があるとの認識のもと、駅前北側広場の再編と合わせたOsaka Metro なかもず駅施設等の改良などの取組について、大阪市とも意見交換を進めています。今後も乗継改善や利用者の利便性向上に取り組むなど関係者と連携して進めます。</p>
28	<p>各エリアが完成した場合、周辺地域や遠方の地域から車で訪れることに加え、特に南海高野線中百舌鳥駅、御堂筋線なかもず駅の利用者が最も多く訪れると思われます。</p> <p>そのうえで、駅前広場には、南海高野線中百舌鳥駅の北出口（東側）と御堂筋線なかもず駅の8番出口が最も接近しやすく、南海と大阪メトロを繋ぐ共にメインのルートとなっているため、多くの人が流れてくることが予測できます。</p> <p>一方、北部エリアでは、御堂筋線なかもず駅の2番出口、南海高野線の北出口（エレベーター側）が最も接近しやすい出口となっていますが、共に人の流れが悪く、北部エリアに人が流れず、駅前広場だけが活性化することが懸念されます。</p> <p>駅前広場から周辺市街地を通して北部エリアに至る動線を形成するだけでは、駅前広場と北部エリアの目的が異なる以上、長くは続かないため、それぞれのエリアに直接接近しやすいようにすることが重要であると考えます。</p> <p>そのためには、御堂筋線なかもず駅の改札を一つ増設（現在設置してある改札の北側）し、2番出口への動線を確保し、北部エリア及び周辺市街地北側に接近しやすいようにすること。同様に、南海高野線の北出口（エレベーター側）からの動線を確保することで、北部エリア及び周辺市街地南側に接近しやすいようにすることが効果的であると考えます。</p>	<p>本方針では、拠点施設整備として、駅前広場エリアの整備を先行し、次に北部エリアの整備を段階的に行うことで、エリア内の活性化を図ります。その効果を、両エリアをつなぐ周辺市街地に波及させ民間投資の誘発を図ることで、多様な主体によりめざすべき姿を実現し中百舌鳥駅周辺エリア全体の魅力と価値の向上をめざします。また、中百舌鳥駅周辺エリアを安全快適で歩きたくなるひと中心の空間とするため、誰もが使いやすい空間整備を行いエリア内の歩行者ネットワークの形成に向けた取組を進めます。いただいたご意見は、鉄道事業者に共有させていただきます。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
29	滞留したくなる機能の充実 ・中百舌鳥駅前広場にイベント毎に応じたオブジェクトを設置 ・キッチンカーの出店、話題性で駅利用者だけでなく駅周辺にいる人の集客を狙う。	本方針においても滞留したくなる機能の充実が重要としており、いただいたご意見は今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。
30	ウォーキングができるぐらいの公園が欲しい。	北部エリアにおいては、民間活力を導入した公園の再配置等により都市機能更新の推進を図ります。いただいたご意見は、所管部局へ共有し今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。
31	駅周辺の活性化した際の治安の悪化は大丈夫か？ 通称「ミナミのグリ下」のようなダークな街にならないように、警察や地域住民との連携も計画に盛り込んで欲しい。	中百舌鳥駅周辺エリアの活性化には、多種多様なステークホルダーが本方針を共有し、各施策におけるそれぞれの役割と目的を持って進める必要があると考えており、関係するステークホルダーの参画を促しながら取組を進めます。
32	医療機関や福祉機関との連携もしていかないと、街の活性化にならないのではないか。	
33	中百舌鳥駅周辺には、大型スーパーなどの小売店やダイキン工業もあるので、活性化の中に盛り込んで欲しい。ショッピングや大企業の工場も地域の活性化に一役買って貰うべきではないか。	中百舌鳥駅周辺エリアの活性化には、多様な機能をエリア内に備えることが必要だと考えています。そのため、中百舌鳥駅周辺の活性化に向け、民間活力を導入した施設整備や都市機能更新、また容積率緩和や各種制度の柔軟な活用による民間投資の促進など、活性化に向けた取組を進めます。
34	「高島屋」堺店と泉北店を 1 店舗に統合させ、中百舌鳥に持って来て、大阪店。梅田や心斎橋・阿倍野の「百貨店」並み、同様の「百貨店」を、堺に誕生させる。	
35	何だかの形で、医療拠点（医療機関）・医療研究拠点にする。 現・旧の南河内地域の医療事情を考え、旧の南河内地域に近い、中百舌鳥の土地を活用し「なにわ生野病院」と同様・同規模の医療機関の誘致を中百舌鳥にすべき。	
36	堺市産業振興センターあたりに、ショッピングモールがあると、中百舌鳥が栄えると思います。	

	ご意見の要旨	市の考え方
37	<p>市民サービス（書類発行、よろず相談等）の次世代型 AI ワンストップステーションや本庁からの一部機能移転設置、住民票や戸籍謄本等、書類の発行等を一元化する AI 機能活用のワンストップステーションを設置し、若夫婦や子育て世帯、勤労者が多い地域のニーズの救い上げをご対応いただきたい。</p> <p>本庁担当とリモートでつなぐ次世代対話型システム導入や勤労世帯に多いと推定されるパスポート発行機能をはじめとする本庁機能の一部移転をぜひご検討ください。</p>	<p>中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図るためには、エリア内に多様なひとの交流・活動する場を充実させる視点で、施策を実施することが必要と考えています。いただいたご意見は、所管部局と共有させていただきます。</p>
38	<p>市役所の派出所みたいなものがあれば、提出の資料などが取りやすくなると思います。</p>	
39	<p>天王寺駅商業施設 MIO 内の郵便局のように、常時ひとが集まっている郵便局機能施設を誘致要望（訪れる又は滞留する 1 つのきっかけ、計画の北部に集積する産業支援機関の利便性向上） 中百舌鳥駅 500m 圏内には郵便局が皆無なことから、天王寺駅商業施設 MIO 内に立地する郵便局のように、訪れる又は滞留するきっかけとなることがほぼ間違いないと考えられ、しかも計画の北部に集積する産業支援機関の利用も見込み利便性が向上することから、是非なかまらず駅内に人が集まる郵便局機能施設を誘致もしくは移転していただきたく、ご検討をお願いいたします。小さくていいので、郵便局が欲しいです。</p>	<p>中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図るためには、エリア内に多様なひとの交流・活動する場を充実させる視点で、施策を実施することが必要と考えています。いただいたご意見は、日本郵政株式会社に共有させていただきます。</p>
40	<p>駅周辺には宿泊施設がないため、それらの誘致を行っていただきたい。</p>	<p>中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図るためには、エリア内に多様なひとの交流・活動する場を充実させる視点で、施策を実施することが必要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。</p> <p>なお、令和 4 年度に実施したサウンディング型市場調査において民間事業者に意見を聞いたところ、宿泊機能としての一般的なホテルの誘致は厳しいという意見が多くありました。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
	○ IV将来の絵姿	
41	<p>イメージ図では天国のようなバラ色な絵が描かれていますが、中百舌鳥駅周辺を活性化して、人が集まってしまうと、逆に身動きできない街になってしまうのではないですか。中百舌鳥に人を集めるよりも、他の地域に人が集うスポットを作った方が良いと思います。市長は堺市の都市計画をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>堺市都市計画マスタープランでは、鉄道駅等を中心に都心、都市拠点、地域拠点、駅前拠点と階層性をもった拠点を位置づけ、それぞれの個性や魅力を活かした拠点を形成することとしています。</p> <p>その中で、中百舌鳥駅周辺エリアは、「イノベーション創出拠点」と位置づけられており、イノベーション創出拠点を形成するには、中百舌鳥駅周辺エリアの活性化を図る取組を実施する中で、多様なひとが「多様な交流・活動をしやすい」ための環境を整えることが必要と考えています。</p>

提出された意見は適宜整理、要約しています。